

法典だより 学校評価特別号

令和7年3月3日
船橋市立法典小学校
連絡先:439-0832
<https://k7v4z07b7on1.blog.fc2.com/>



法典小ブログ

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。アンケート結果を基に、来年度に向けての改善策を練り、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員の皆様にご意見をいただきました。以下に、アンケートの結果と今後に向けてのまとめをお知らせいたします。

I 教職員アンケートについて

・学校教育目標「自ら進んで行動する児童の育成 ～本気で取り組む法典小学校～」について

肯定的な回答が100%でした。「自ら進んで行動する児童」の育成に向けて、職員一同、教育活動に臨んできました。来年度も引き続き学校全体で目標達成に向けての意識の継続を図るとともに、目指す児童の姿をより明確にして指導にあたっております。

・生活指導・児童理解について

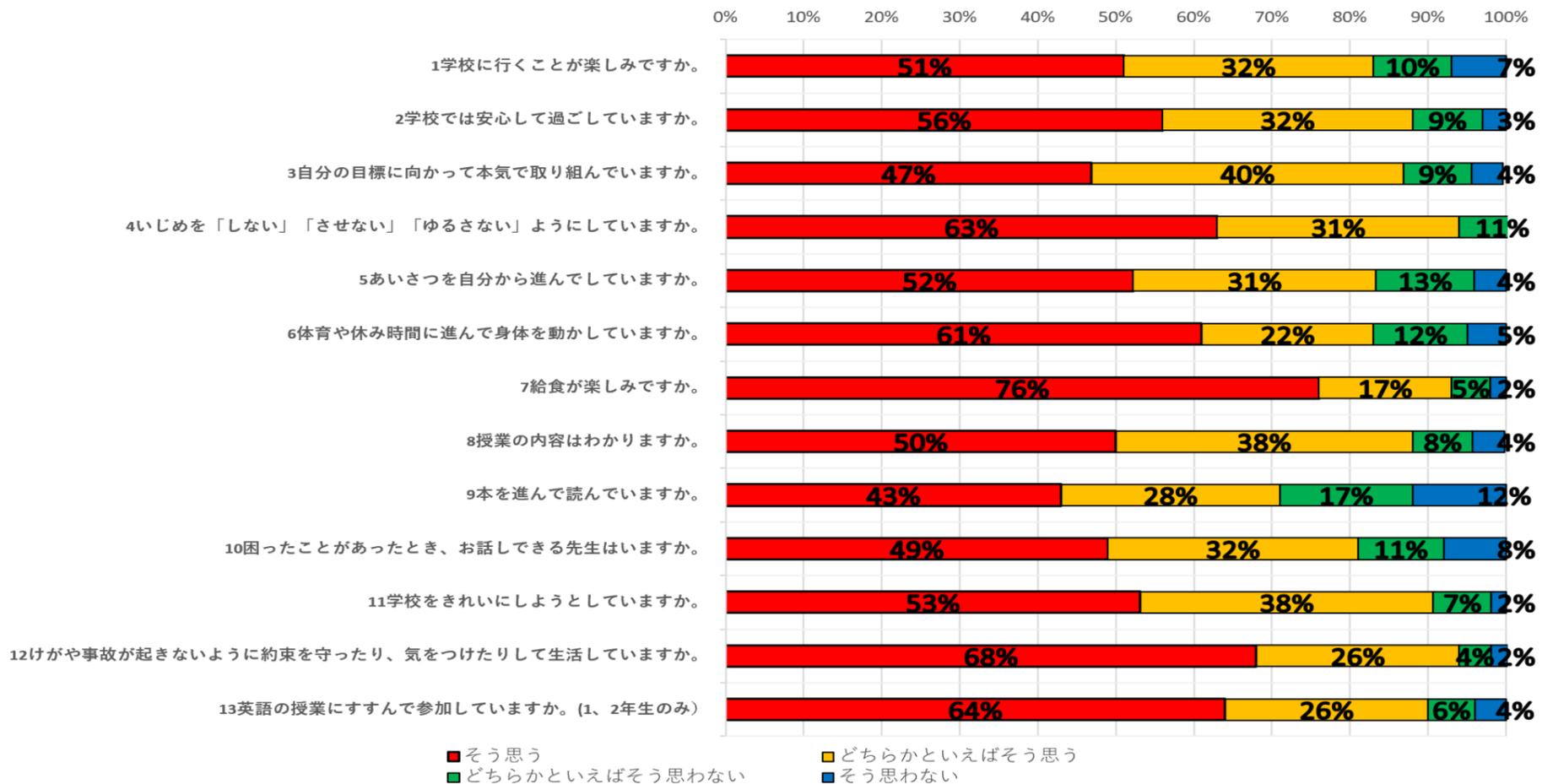
肯定的な回答が多く見られました。特に、自らの生命、安全を守る指導、ユニバーサルデザインの視点における教室環境の整備、いじめや子どもの困りごとに対する適切な対応、教育相談の充実について、昨年度より肯定的な回答が増加しました。児童を理解するように努力し、様子を丁寧に見て、保護者の方と連携を図り、児童のよりよい成長に向けて指導、支援に努めてきました。今後も、学校職員全体で、児童一人一人を大切にしていきます。

・学習指導について

公開研究会を昨年11月に実施しました。研究主題「自ら学びに向かう児童の育成～対話的な活動を通して学びを深める授業の工夫～」に向かい、日々授業改善を行い、学校全体で研究を進めてきました。その結果、昨年度課題でありました基礎・基本の定着を図る点において昨年度より大幅に肯定的な回答が見られました。また対話的な活動による授業の工夫を意識することができました。今後もより一層「確かな学力の向上」に向けて充実した指導に努めていきます。

II 児童アンケートについて

(1) 実施項目と結果



(2) 考察

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的回答としたとき、13項目中12項目において肯定的回答が8割を超えました。「そう思う」の割合を増やし、肯定的な意見がさらに増えるよう努力していきます。

・4 いじめを「しない」「させない」「ゆるさない」への取り組みについて

昨年度よりも肯定的回答の割合が約3%高くなりました。普段から教職員が児童へ「いじめは絶対にゆるさない」ということを伝え、児童同士でも他者との関わり方を道徳の授業時間などで考える姿が見られます。今後も、定期的なアンケートでいじめの早期発見、対応をしていき、全教職員で対応をしていき、いじめのない学校作りに努めていきます。

・9 自主的な読書活動への取り組みについて

13項目の中で唯一肯定的回答が8割に届きませんでした。昨年度よりも肯定的回答の割合が約3%低くなりました。「図書」の時間を国語の学習の中に設定したり、読み聞かせや本の紹介など読書活動への関心を高める取り組みを実施してはきましたが、十分ではなかったようです。特に、学年が上がるにつれてその割合は低下する傾向が見られます。今後も引き続き、本に触れる学習活動の機会を大切にするとともに、児童の関心が高まる新刊本の紹介・整備などを進め、読書活動が充実するよう努めていきます。

・10 困ったことがあった時の相談先について

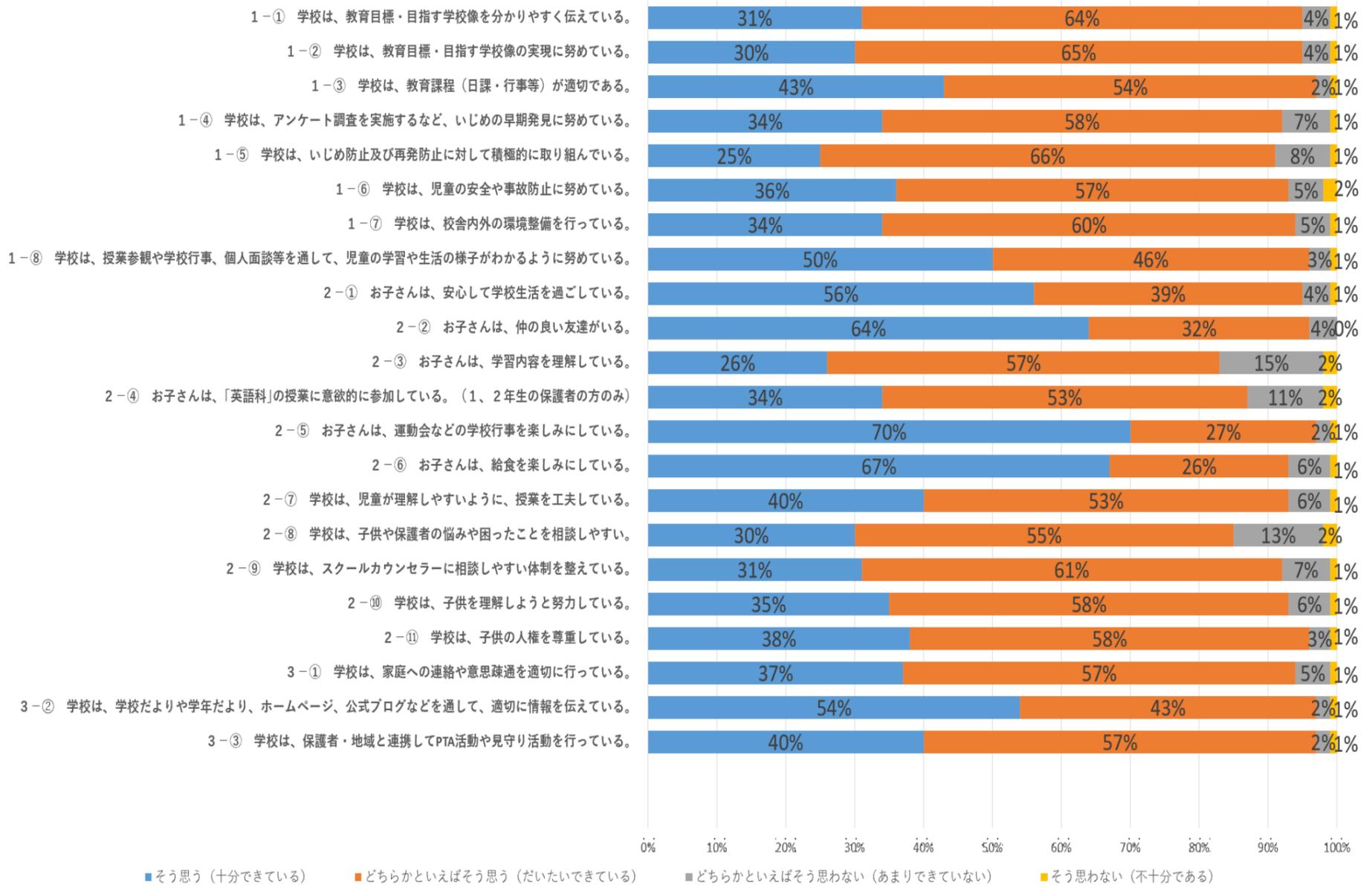
昨年度より肯定的回答が約3%高くなり、全項目の中で一番上昇しました。担任による児童への定期的な声掛けや相談を行い、児童理解に努めてきた他に、「おあしすポスト(相談箱)」が活用がされていることが上昇した理由と考えられます。今後も年度初めに困った時の相談先として、スクールカウンセラーや相談箱「おあしすポスト」について周知するとともに、児童が安心して悩みを打ち明けられる雰囲気を一層醸成していきます。

・13 英語の授業について

昨年度より肯定的回答が約4%低くなり、全項目の中で一番下降してしまいました。全体では肯定的な回答が約9割であり、他項目と比べても低い割合ではありませんが、ALTとのコミュニケーションを高めていき、児童が楽しく感じて進んで授業に取り組める環境作りに努めていきます。

Ⅲ 保護者アンケートについて

(1) 実施項目と結果



(2) 考察

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的回答としたとき、全22項目において肯定的回答の割合が8割を超えており、その内19項目が9割を超える結果となりました。しかしながら「そう思う」の割合がまだ低いので高まるように努力していきます。

・1-④・⑤ いじめ防止への取り組みについて

今年度においても、児童への生活アンケートを実施するとともに、日々の児童の様子の観察や担任による児童への定期的な声掛けを継続して行いました。また、主に道徳科や特別活動を通して、心の教育の充実にあたってきました。今回、「具体的に学校が取り組んでいる内容が分からない」といご意見も複数ありましたので、学校の取組について保護者の方へ周知を図っていきます。一方で、「連絡帳などに事情を説明して、迅速に対応していただきました」とのご意見もいただきました。学校のいじめ対策については今後も継続してお伝えをし、ご理解いただくとともに、家庭・地域との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでいきます。

・2-③ 学習内容の理解について

本校は昨年11月に公開研究会を実施しました。教職員は、児童自らの考えを広げ深める、対話的な学びの実現に向けた授業改善に取り組んでまいりました。保護者の方からは「漢字や計算がなかなか定着しない」という意見を複数いただきました。対話的な学びを効果的に実現するための手立てやICTの活用、子供の学びの姿を実現する教師の働きかけの在り方について、今後さらに工夫、改善をしていきます。

・3-② 各種たよりやホームページ、公式ブログでの情報の伝達について

昨年度より肯定的回答が増加しました。各種たよりの一部を学校安全安心メールで配信をいたしました。また、今年度から始めた公式ブログでは、都度日々の学習や生活の様子を常に更新してきました。保護者の方から「いつもブログを楽しく見えています!」「子供たちの様子や先生方の活躍が知ることができ、法典小学校の良さを再発見できた」など、多数のあたたかいお言葉をいただきました。今後も保護者や地域の方に少しでも本校の教育活動を知っていただくため、引き続き、学校の様子を学校だよりやホームページ、公式ブログを通して伝えていきます。

Ⅳ 学校運営協議会委員より

- ・学校生活アンケートにおいて、どの項目においても「そう思わない」のが一定数いる。それには、何かしらの理由があるのだと思う。
- ・読書活動を推進するにあたって、活字だけではなくタブレットなどを用いると幅が広がるのではないだろうか。また、図書室の本などをさらに有効にアピールするなど、工夫してみるよいのではないだろうか。
- ・児童のアンケートは、肯定的な評価が高い。教職員が頑張っているのだろう。
- ・保護者アンケート「1-⑧学校は、授業参観・学校行事…」の項目について、肯定的回答が多いのは、学校行事に対する関心が高いからであろう。
- ・英語学習について、英語特区であることを生かしてほしい。
- ・法典小のブログによって、学校生活の様子がわかるのがよい。
- ・「4. 読書を進んでしている」の割合は、ゲームなどの影響で年々少なくなっていくだろうと思う。家庭でも小さいうちに読み聞かせをすることが、読書を推進する方法として有効かもしれない。